

労働安全衛生管理講師向けジョブコーチ指導者育成研修

ヨルダンでは25名以上の職員を抱える企業に対して労働安全衛生管理官(以下、OSH 職員)の配置が義務付けられています。OSH職員は職場の安全管理や働きやすい職場づくり、アクセスのチェックと改善なども求められます。そのためOSH職員が支援付き就労に関する基礎知識を身につければ、障害を持つ職員に対しての適切なサポートの提供が期待できると考え、プロジェクトではOSH職員の養成研修にジョブコーチの内容の一部を挿入することを関係機関とともに検討してきました。その結果、今回はどのように具体的に内容を挿入するかを講師

間で検討し、またそれを実施する人材を育成するため、OSH育成研修の講師に対するジョブコーチ指導者育成研修(TOT)を実施しました。この研修では参加者がプロの講師ということもあり、集中4日間研修のうち、前半2日でジョブコーチの基礎理論と技術を学び、後半2日で指導者育成研修を実施、計21名が修了しました。



集合写真

ピアカウンセラーの活動現場

シリア人ピアカウンセラーの1名が勤務する、アンマン市内の私立病院では、国境なき医師団の支援により、近隣国から治療が必要な患者を呼び寄せて入院治療を提供しています。事故等で火傷や怪我を負い、障害者となった入院患者も多いことから、ピアカウンセラーによるサポートが大きな効果を発しています。国境なき医師団のダエトさんは、「入院患者みんながピアカウンセラーを信頼しており、私たちには話せないこともピアカウンセラーには正直に話せるようです。」と話し、ピアカウンセリングがもたらす効果を実感しているとのことでした。



ピアカウンセラー(奥左)とダエトさん(奥右)

ホテルでの支援付き就労

知的障害者支援を実施しているNGOのFFSPDはジョブコーチによる就労支援を積極的に実施しています。FFSPDでジョブコーチとして勤務しているタマームさんが9ヶ月前から支援を実施している2名の障害者がアンマン市内のホテルで勤務しています。同僚、上司、ジョブコーチのそれぞれが、障害を持つ職員に理解を示し、また、一職員として尊重している様子が伺えました。



左から同僚、上司、障害者、ジョブコーチ、FFSPD代表